

草の根無償資金協力（APJ アテ区高齢者福祉施設）供与式 大使挨拶
【2017年12月4日（月）、15：00～、於：APJ 沖縄県人会館】

ご列席の皆様

本日、神内先駆者センター別館の開所式が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。併せて草の根無償資金協力の供与式に皆様にご参加いただきありがとうございます。

本年は神内先駆者センターの設立25周年に当たります。25周年記念の式典の直前に神内良一さんが他界されました。あらためて神内さんのご冥福をお祈りいたします。神内さんは、福祉活動を志し、そのために必要な財政基盤をまず確立しようとして起業され、見事に成功された方です。こうした方がペルーの日系の皆様の活動を応援されてこられたのは、移住先駆者の皆様のご苦勞に報いようとする日系社会に感動されたからだと考えます。日本の国内では介護保険制度が作られ、地方自治体が中心となって高齢者を支援するようになっていきます。行政だけに頼らずに、当地ではAPJが立ち上がり、高齢者の方が毎日元気に暮らせるように尽力されています。細かなルールによることなく、互いの気持ちが通じ合う形で支援が出来ているように思います。

沖縄県人会館別館で使用する車両及び機材は、昨年安倍総理大臣がペルーを訪問した際に皆様に約束していたものです。プロジェクト完了に向けて尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。また、この事務に時間がかかりましたために、開所式も本日までずれ込んだと認識しております。大変お待たせしました。

神内先駆者センターで健康的な、楽しい時間を過ごすことは、高齢者の方の長寿の秘訣の一つになっていると思います。これまでの貴重な経験を若い世代に伝えていただけるととても良いと思います。この施設の開所により、今までの倍以上の方々を受け入れることができるようになります。また、ご自宅からの距離も近くなります。積極的にご活用いただければと思います。

最後になりますが、神内先駆者センターの活動を日々支えているペルー日系人協会、神内先駆者センター及びボランティアの皆様のご尽力に敬意を表します。日・ペルー関係の更なる発展を祈念して、私の挨拶といたします。

ありがとうございました。